

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 08138763
PUBLICATION DATE : 31-05-96

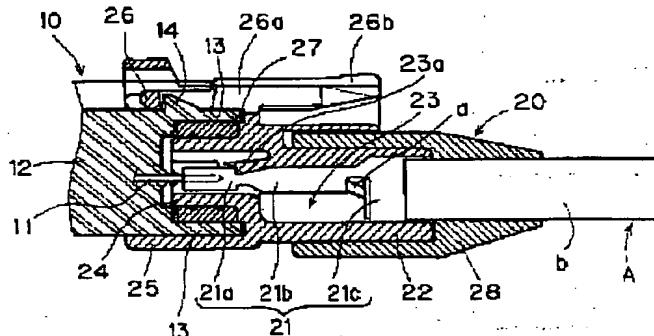
APPLICATION DATE : 09-11-94
APPLICATION NUMBER : 06275196

APPLICANT : SUMITOMO WIRING SYST LTD;

INVENTOR : KOBAYASHI YOSHIHISA;

INT.CL. : H01R 4/18

TITLE : TERMINAL STRUCTURE OF
HIGH-TENSION WIRE FOR INTERNAL
COMBUSTION ENGINE



ABSTRACT : PURPOSE: To provide a terminal structure of a high-tension wire for an internal combustion engine.

CONSTITUTION: A coil side connector 10 comprises a flat male terminal 11 and a coil side housing 12 accommodating and holding the male terminal 11. A wire side connector 20 comprises a female terminal 21 electrically connected to a high-tension resistance wire A, a wire side housing 22 accommodating and holding the female terminal 21, a rubber ring 27, and a rubber cover 28. The sealing rubber ring 27 formed of oil-bearing rubber is fitted into the portion 24 of the wire side housing 22 which fits into the coil side connector 10, and the rubber cover 28 formed of EPDM or silicone rubber covers the wire side housing 22 from the center of the housing 22 to the high-tension resistance wire A. The wire barrel of the female terminal 21 has only its inner surface caulked into an arc shape to make contact with the conductor portion of the high-tension resistance wire A, and has its edge kept from biting directly into the conductor portion.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

特開平8-138763

(43)公開日 平成8年(1996)5月31日

(51) Int.Cl.⁶

H01R 4/18

識別記号 庁内整理番号

C 7230-5B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 OL (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-275196

(22)出願日 平成6年(1994)11月9日

(71) 出願人 000183406

住友重装株式会社

三重県四日市市西志摩町1番14号

(72) 発明者 小林 良尚

三重県四日市市西末広町1番14号 住友電
装株式会社内

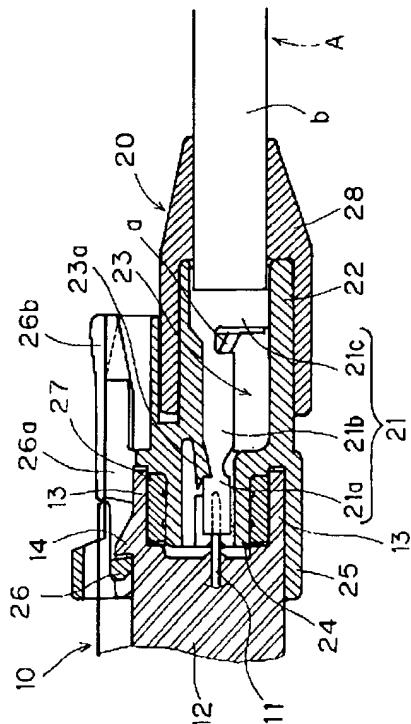
(74) 代理人 弁理士 吉田 茂明 (外2名)

(54) [発明の名称] 内燃機関用高圧電線の端末部構造

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】内燃機関用高圧電線の端末部構造を提供する。

【構成】コイル側コネクタ10は、平型の雄型端子11と、雄型端子11を収容保持するコイル側ハウジング12とから構成されている。電線側コネクタ20は、高圧抵抗電線Aに電気的に接続される雌型端子21と、この雌型端子21を収容保持する電線側ハウジング22と、ゴムリング27と、ゴムカバー28とから構成されており、電線側ハウジング22は、前記コイル側コネクタ10との嵌合部24に含油ゴムによって形成されたシール用のゴムリング27が嵌め込まれると共に、その中央部から前記高圧抵抗電線Aに渡ってE P D M又はシリコーンゴムによって形成されたゴムカバー28が被せられる。前記雌型端子21のワイヤーバレルは、その内面のみが前記高圧抵抗電線Aの芯線部分に接触するように円弧状にかしめられ、その先端のエッジ部分が直接芯線部分に食い込まないようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 点火コイル側に形成されたコイル側コネクタと、前記点火コイルと点火プラグとを接続する高圧抵抗電線の一端に取り付けられ、前記コイル側コネクタに着脱自在に嵌合される電線側コネクタとからなり、前記コイル側コネクタは、点火コイルに電気的に接続される点火コイル側端子と、この点火コイル側端子を収容、保持するコイル側ハウジングとを備え、前記電線側コネクタは、前記高圧抵抗電線の芯線に電気的に接続される電線側端子と、この電線側端子が装着される電線側ハウジングと、前記高圧抵抗電線と電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムカバーと、前記コイル側コネクタに電線側コネクタが嵌合した状態で、前記コイル側ハウジングと前記電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムリングとを備え、前記ゴムリングのみを含油ゴムによって形成した内燃機関用高圧電線の端末部構造。

【請求項2】 ディストリビュータ側に形成されたディストリビュータ側コネクタと、前記ディストリビュータと点火プラグとを接続する高圧抵抗電線の一端に取り付けられ、前記ディストリビュータ側コネクタに着脱自在に嵌合される電線側コネクタとからなり、

前記ディストリビュータ側コネクタは、ディストリビュータに電気的に接続されるディストリビュータ側端子と、このディストリビュータ側端子を収容、保持するディストリビュータ側ハウジングとを備え、

前記電線側コネクタは、前記高圧抵抗電線の芯線に電気的に接続される電線側端子と、この電線側端子が装着される電線側ハウジングと、前記高圧抵抗電線と電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムカバーと、前記ディストリビュータ側コネクタに電線側コネクタが嵌合した状態で、前記ディストリビュータ側ハウジングと前記電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムリングとを備え、前記ゴムリングのみを含油ゴムによって形成した内燃機関用高圧電線の端末部構造。

【請求項3】 前記電線側端子には、前記高圧抵抗電線の芯線を把持するワイヤーバレルと、前記高圧抵抗電線の絶縁被覆部を把持するインシュレーションバレルとを設け、

前記高圧抵抗電線の芯線に対して前記ワイヤーバレルの内周面のみが接触するように、前記ワイヤーバレルを前記芯線に圧着することで、前記電線側端子と前記高圧抵抗電線とを電気的に接続すると共に固定支持するようにした請求項1又は2に記載の内燃機関用高圧電線の端末部構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、点火プラグに電気的に接続される高圧抵抗電線と、点火コイル又はディスト

リピュータとを電気的に接続する高圧抵抗電線の端末部構造に関する。

【0002】

【従来の技術】自動車のエンジンの各シリンダに設けられた点火プラグには、高電圧を発生する点火コイルから高圧抵抗電線を介して高電圧が供給されるが、その供給方法として、1つの点火コイルからディストリビュータを介して各点火プラグに電圧を供給する集中型コイル方式と、点火プラグと同数の点火コイルを設け、各点火コイルから直接各点火プラグに電圧を供給する直結型コイル方式がある。

【0003】ところで、上記集中型コイル方式におけるディストリビュータと点火プラグとの接続、又は上記直結型方式における点火コイルと点火プラグとの接続にはいずれも高圧抵抗電線が用いられるが、その高圧抵抗電線とディストリビュータ又は点火コイルとの接続には、図6に示すような接続構造が採用されている。即ち、高圧抵抗電線側においては、同図(a)に示すように、その端末にL字型に屈曲した雄型端子51が電気的に接続されると共にその雄型端子51の先端部分を露出させた状態で接続部分から雄型端子51に渡ってその周囲が含油ゴムによって形成されたゴムカバー52で被覆され、さらにその上に合成樹脂製のホルダー53が被せられている。一方、受け側であるディストリビュータ又は点火コイル側においては、同図(b)に示すように、雌型端子61がディストリビュータ又は点火コイルに電気的に接続されると共にその雌型端子61を埋め込むようにしてその雌型端子61の周囲に合成樹脂製のハウジング62が形成されている。そして、前記高圧抵抗電線側のゴムカバー52の先端をディストリビュータ又は点火コイル側のハウジング62に圧入することにより雄型端子51を雌型端子61に挿入して接触させ、前記ホルダー53をハウジング62の外側に嵌め込むことによって両者が完全にシールされた状態で電気的に接続されるようになっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述したような接続構造では、端子自体が大きく、しかも芯線と端子の保持力をインシュレーションバレルの把持力によって確保しているため端子自体が長くなり、その周囲に設けられているゴムカバー52、ホルダー53、ハウジング62等も大きくならざるを得ず、全体的に接続部分が大型化するといった問題点がある。

【0005】また、上記接続構造では、雄型端子51と雌型端子61との電気的接続部分についての高度のシール性能を確保するために、前記ゴムカバー52先端の前記ハウジングへの圧入部分をある程度大径に形成するのに伴いその圧入を容易にするためにその圧入部分を滑りの良い高価な含油ゴムによって形成しているが、全体の構造上、含油ゴムである必要のないゴムカバー52の圧

入部分以外についても含油ゴムによって形成せざるを得ず、ゴムカバー52自体の材料費が高くなり、全体としての製造コストが高くなるといった問題がある。

【0006】さらに、含油ゴムと高圧抵抗電線の外層シースを形成しているシリコーンゴムやエチレンプロピレンジエンゴムとは相互の接着性が悪いため、ゴムカバー52全体を含油ゴムで形成しておくと、高圧抵抗電線の外層シースとゴムカバーとの間のシール性能の点において不利になるといった問題もある。

【0007】そこで、この発明の課題は、上記問題点を解決すべく、高圧抵抗電線とディストリビュータ又は点火コイルとの接続部分の小型化を図ると共に低コストで製造することができ、かつ外層シースとゴムカバーとの接着性を改善することのできる内燃機関用高圧電線の端末部構造を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するため、この発明は、点火コイル又はディストリビュータ側に形成されたコイル側コネクタ又はディストリビュータ側コネクタと、前記点火コイル又はディストリビュータと点火プラグとを接続する高圧抵抗電線の一端に取り付けられ、前記コイル側コネクタ又はディストリビュータ側コネクタに着脱自在に嵌合される電線側コネクタとかなり、前記コイル側コネクタ又はディストリビュータ側コネクタは、点火コイル又はディストリビュータに電気的に接続される点火コイル側端子又はディストリビュータ側端子と、この点火コイル側端子又はディストリビュータ側端子を収容、保持するコイル側ハウジング又はディストリビュータ側ハウジングとを備え、前記電線側コネクタは、前記高圧抵抗電線の芯線に電気的に接続される電線側端子と、この電線側端子が装着される電線側ハウジングと、前記高圧抵抗電線と電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムカバーと、前記コイル側コネクタ又はディストリビュータ側コネクタに電線側コネクタが嵌合した状態で、前記コイル側ハウジング又はディストリビュータ側ハウジングと前記電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムリングとを備え、前記ゴムリングのみを含油ゴムによって形成した内燃機関用高圧電線の端末部構造を提供するものである。

【0009】また、前記電線側端子には、前記高圧抵抗電線の芯線を把持するワイヤバレルと、前記高圧抵抗電線の絶縁被覆部を把持するインシュレーションバレルとを設け、前記高圧抵抗電線の芯線に対して前記ワイヤバレルの内周面のみが接触するように、前記ワイヤバレルを前記芯線に圧着することで、前記電線側端子と前記高圧抵抗電線とを電気的に接続すると共に固定支持するといい。

【0010】

【作用】以上のように構成された内燃機関用高圧電線の

端末部構造では、コイル側ハウジング又はディストリビュータ側ハウジングと前記電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムリングのみが含油ゴムによって形成されているため、全体としての含油ゴムの使用量が少なく、高圧抵抗電線と電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムカバーが含油ゴムによって形成されていないので、高圧抵抗電線とゴムカバーとの間のシール性能の点において不利にならない。

【0011】また、高圧抵抗電線の芯線に対して前記ワイヤバレルの内周面のみが接触するように、ワイヤバレルを芯線に圧着するようにした電線側端子を使用したものにあっては、ワイヤバレルによる圧着によって芯線が断線することができなく、しかも、高圧抵抗電線が芯線圧着部分で確実に電線側端子に固定されるので、十分な端子保持力が確保される。

【0012】

【実施例】以下、実施例について図面を参照して説明する。図1は、点火コイル（図示せず）と、点火プラグ（図示せず）に接続される高圧抵抗電線Aとの接続部分を示しており、点火コイルに設けられたコイル側コネクタ10と、高圧抵抗電線Aに取り付けられた電線側コネクタ20とを連結することによって前記点火コイルと高圧抵抗電線Aとが電気的に接続されるようになっている。

【0013】前記コイル側コネクタ10は、点火コイル（図示せず）に電気的に接続される点火コイル側端子としての平型の雄型端子11と、インサート成形によって、先端部を露出させた状態で前記雄型端子11を収容保持するコイル側ハウジング12とから構成されている。なお、前記雄型端子11は、インサート成形以外の方法、例えばコネクタハウジングに端子を後から挿入して固定する方法によってコネクタハウジングに取り付けることも可能である。

【0014】前記コイル側ハウジング12は、耐熱性樹脂によって形成されており、前記点火コイルが収容されているケース本体に一体成形されている。このコイル側ハウジング12は、その先端部に前記雄型端子11の露出部を囲うように形成された前記電線側コネクタ20の嵌合部24が嵌り込む被嵌合部13を備えており、この被嵌合部13の外周面には、コイル側コネクタ10と電線側コネクタ20との連結状態を保持するロック機構の一部を構成する係止突起14が設けられている。

【0015】前記電線側コネクタ20は、高圧抵抗電線Aに電気的に接続される雌型端子21と、この雌型端子21を収容保持する電線側ハウジング22と、ゴムリング27と、ゴムカバー28とから構成されており、前記電線側ハウジング22は、耐熱性の樹脂によって形成されている。

【0016】前記電線側ハウジング22には、前記高圧抵抗電線Aの端末に取り付けられ、高圧抵抗電線Aの芯

線部分aに電気的に接続された電線側端子としての雌型端子21を収容する端子収容部23が形成されており、この端子収容部23には、前記雌型端子21の穴に係合して雌型端子21の収容状態を保持する係止爪23aが設けられている。なお、前記芯線部分aは、ケブラー繊維等によって形成されたテンションメンバーの上に耐熱ゴムを薄く押し出し、その上に50μ～60μのNi-Cr線によって形成された抵抗線を巻き付けたものである。

【0017】また、この電線側ハウジング22は、先端部に前記コイル側コネクタ10の被嵌合部13に遊びを持って嵌り込む嵌合部24とその外周に前記被嵌合部13が嵌り込む嵌合部25とが形成されており、前記嵌合部24には含油ゴムによって形成されたシール用のゴムリング27が嵌め込まれている。なお、このゴムリング27は、十分なシール性能を確保するために、その外径を前記コイル側コネクタ20の被嵌合部13の内径よりある程度大きくしているが、上述したように、ゴムリング27が含油ゴムによって形成されているため、滑り易く、前記被嵌合部13への挿入はスムーズに行えるようになっている。

【0018】さらに、この電線側ハウジング22には、コイル側コネクタ10と電線側コネクタ20との連結状態において前記係止突起14に係合する弾性変形可能な係止片26が一体成形されている。この係止片26は、その長手方向の中央部が前記電線側ハウジング22に支持されており、前端部には前記係止突起14に係合するスリット部26aが、また後端部には係止突起14との係合を解除すべく、前端部を持ち上げる為の押圧部26bが形成されている。

【0019】また、この電線側ハウジング22には、その中央部から前記高圧抵抗電線Aに渡ってエチレンプロピレンジエンゴム(EPDM)又はシリコーンゴムによって形成されたゴムカバー28が被せられており、このゴムカバー28と高圧抵抗電線Aとは接着剤によって固定されている。なお、ゴムカバー28と高圧抵抗電線Aとの密着性がよく、防水性能に支障がない場合や防水を考慮する必要がなければ接着剤は不要である。

【0020】前記雌型端子21は、図2(a)に示すように、前記雄型端子11が挿入、接続される角筒状の嵌合部21aと、前記高圧抵抗電線Aの芯線部分aを保持して芯線と電気的に接続するワイヤーバレル21bと、前記高圧抵抗電線Aの外層シース部分bを保持するインシュレーションバレル21cとから構成されており、前記嵌合部21aには、この雌型端子21と雄型端子11との電気的接続を確実にするため、挿入された雄型端子11を押圧する弾性変形可能に折り返された舌片21a'が設けられている。

【0021】前記ワイヤーバレル21bは、同図(b)に示すように、その内面のみが前記高圧抵抗電線Aの芯

線部分aに接触するように円弧状にかしめられ、しかもその先端部分21b'のエッジが直接芯線部分aに食い込まないようにかしめている。従って、このワイヤーバレル21bを上述したようにかしめることにより、高圧抵抗電線Aの芯線部分aをこの雌型端子21に電気的に接続すると、芯線部分aのNi-Cr線が傷ついて断線することがなく、しかも、高圧抵抗電線Aと雌型端子21との支持固定に対して十分な保持力が確保される。

【0022】このため、従来のように、高圧抵抗電線Aに対する端子の保持力を前記インシュレーションバレル21cによる外層シース部分bの保持力に頼る必要がないので、インシュレーションバレル21cを最小限の長さに抑えることができ、電線側コネクタ20の小型化を図ることができる。

【0023】なお、前記ワイヤーバレル21bのかしめかたについては、必ずしも上述したように円弧状にかしめる必要はなく、例えば、図3(a)に示すように、先端部分21b'を相互に重ね合わせたり、同図(b)、(c)に示すように、先端部分21b'を相互に巻き込むようにしてもよい。また、同図(d)、(e)に示すように、先端部分21b'を折り返して、その折返し部分を相互に突き合わせるようにかしめることもできる。

【0024】さらに、図4(a)、(b)に示すように、ワイヤーバレル21bの先端縁を互いに突き合わせて、長手方向の中央部分を偏平状態に押しつぶすようにかしめたり、図5(a)、(b)に示すように、ワイヤーバレル21bの長手方向の中央部と両端部を残してその間を偏平状態に押しつぶすようにかしめてもよい。なお、ワイヤーバレル21bの内面には、溝や突起等のセレーションを形成しておくと、端子と芯線部分aとの保持力が高まるので好ましい。

【0025】また、この実施例においては、点火コイルと高圧抵抗電線Aとの接続部分について説明したが、例えば、ディストリビュータと高圧抵抗電線Aとの接続部分についても適用できる。即ち、前記コイル側コネクタ10と同一構造のディストリビュータ側コネクタをディストリビュータに設けておくと、前記電線側コネクタ20をそのディストリビュータ側コネクタに連結することができ、ディストリビュータと点火プラグとを電気的に接続することができる。

【0026】

【発明の効果】以上のように、この発明の内燃機関用高圧電線の端末部構造では、コイル側ハウジング又はディストリビュータ側ハウジングと前記電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムリングのみが高価な含油ゴムによって形成されているため、全体としての含油ゴムの使用量が少なく、従来品に比べて材料コストの低減を図ることができる。また、高圧抵抗電線と電線側ハウジングとの間に形成される隙間をシールするゴムカバーが含油ゴムによって形成されていないので、高

圧抵抗電線とゴムカバーとの間の接着性がよく、電気的なシール性能の点においても従来品に比べて有利になる。

【0027】また、高圧抵抗電線の芯線に対して前記ワイヤーバレルの内周面のみが接触するように、ワイヤーバレルを芯線に圧着するようにした電線側端子を使用したものにあっては、ワイヤーバレルによる圧着によって芯線が断線することがなく、しかも、高圧抵抗電線が芯線圧着部分で確実に電線側端子に固定されるので、十分な保持力が確保される。このため、従来のように、高圧抵抗電線に対する端子の保持力をインシュレーションバレルによる高圧抵抗電線の絶縁被覆部における把持力に頼る必要がないので、インシュレーションバレルを最小限の長さに抑えることができ、接続部分が全体的に小型化されると共にそれに伴う製造コストの低減を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明にかかる一実施例を示す断面図である。

【図2】同上の雌型端子を示す斜視図である。

【図3】同上のワイヤーバレルによるかしめかたを示す断面図である。

【図4】(a)は同上のワイヤーバレルによるかしめかたを示す斜視図、(b)は(a)のX-X線に沿った断面図である。

* 【図5】(a)は同上のワイヤーバレルによるかしめかたを示す斜視図、(b)は(a)のY-Y線に沿った断面図である。

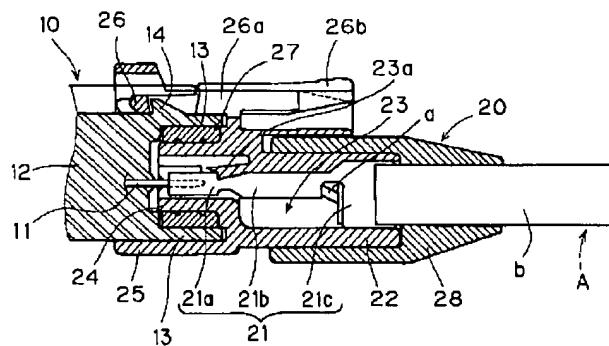
【図6】従来例を示す断面図である。

【符号の説明】

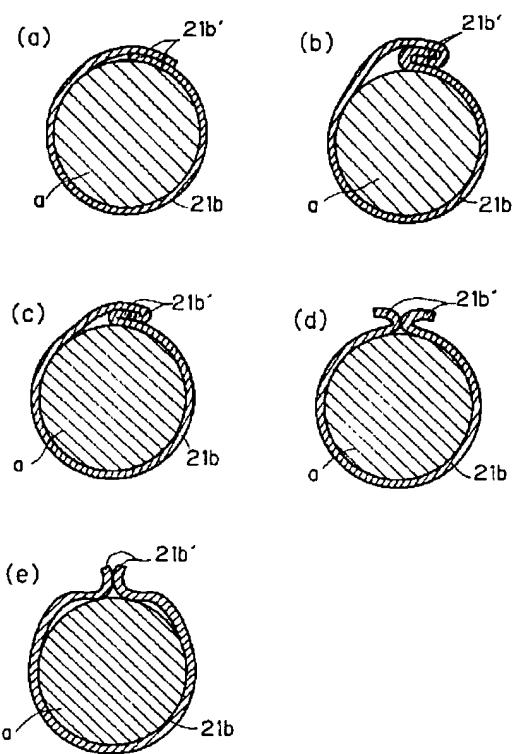
10	コイル側コネクタ
11	雄型端子
12	コイル側ハウジング
13	被嵌合部
14	係止突起
20	電線側コネクタ
21	雌型端子
21a	嵌合部
21b	ワイヤーバレル
21c	インシュレーションバレル
22	電線側ハウジング
23	端子収容部
24	嵌合部
25	被嵌合部
26	係止片
27	ゴムリング
28	ゴムカバー
A	高圧抵抗電線
a	芯線部分

*

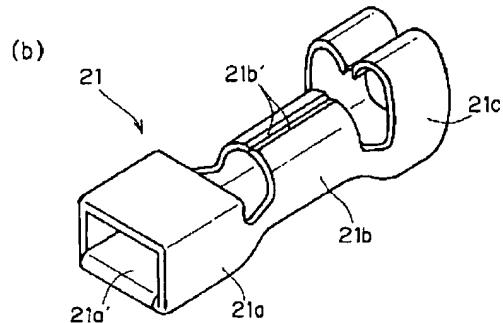
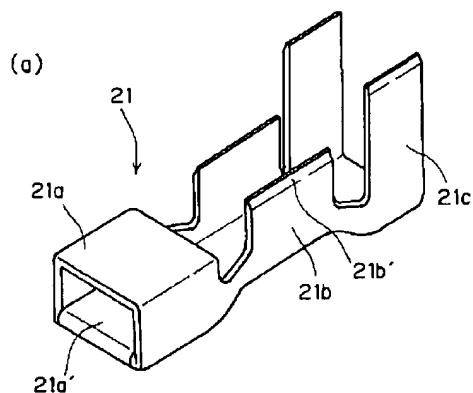
【図1】



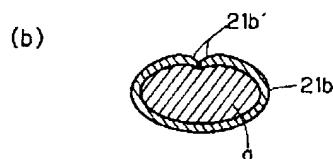
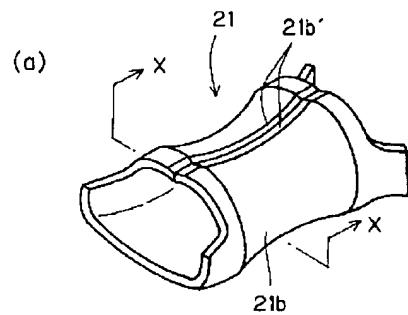
【図3】



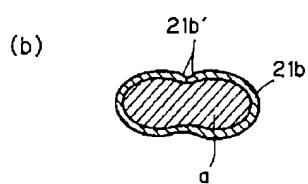
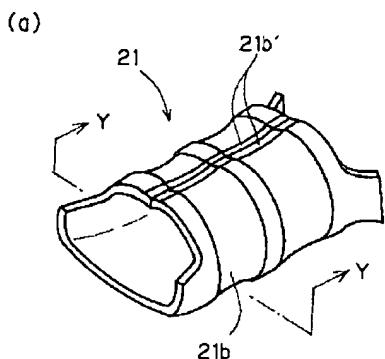
【図2】



【図4】



【図5】



【図6】

